

正確な稼働状況を毎日分析し 生産性を向上

タクトタイムをタイムリーに把握できていますか？

現状

塗装加工メーカーの生産技術ご担当者さまのケース

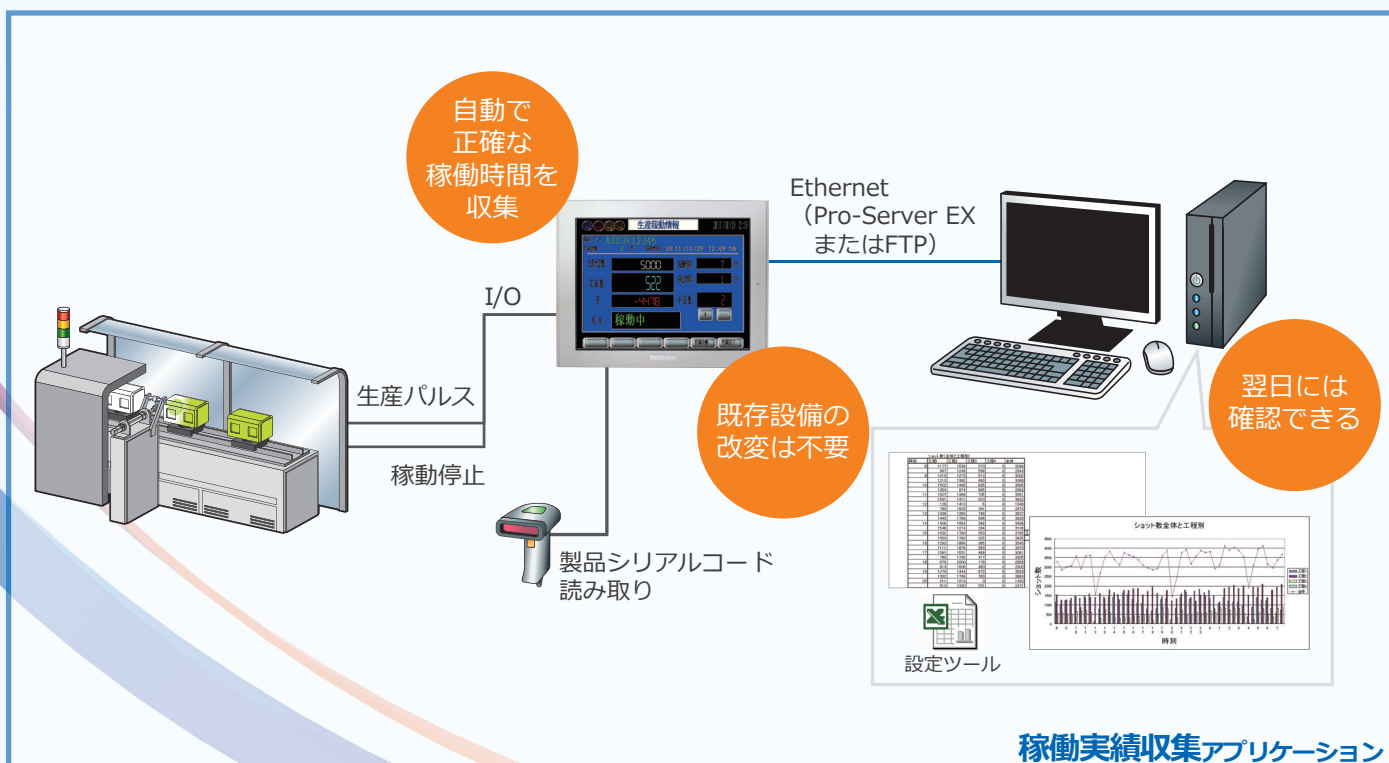
- ・ 生産個数はわかって、不良個数はすぐにわからない。
- ・ 設備の稼働時間が正確にタイムリーにわからない。
- ・ 稼働状況を収集したいが、既存の設備を大きく改造するようなシステムは導入したくない。



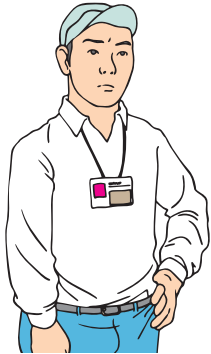
ご提案

そんなあなたに朗報です。

製品シリアルコードを読取り、稼働実績を単位時間で記録。記録されたデータはPCへ自動送信し、稼働時間を正確に把握できるシステムを構築。



ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問い合わせください。



塗装加工メーカー
生産技術担当
華堂様（仮名）/福岡県

生産効率向上のために、タクトタイムの短縮を目標に改善活動を実施された塗装加工メーカーさまの事例をご紹介します。

『タクトタイムを短縮しよう！』 と目標を掲げたのはいいですが・・・

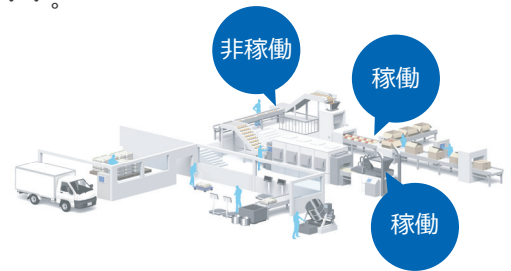
装置が稼働している時間を測定したいのですが、稼働状況の把握に思ったより手間がかかってしまって頭を悩ませています。準備や段取り、洗浄、後始末などの時間、他に材料待ちや工程待ち、人待ちなど、たとえモータが回っていてもその時間は非稼働時間となるため、正確な稼働時間を測定するのが思っているより難しいんです。

正確な稼働時間を収集したいと思ってるのだけど、
どうしたらできるのかわからない。

装置が動いている時間を計測するだけでは、正確な稼働時間がわからない・・・。
しかし、作業ひとつひとつを手書きで記録するのはそれだけで手間だし、
集計にも時間がかかってしまうので現実的な方法ではありません。
こんなことでは、タクトタイムを測定して生産性を向上しようなんて、
いつになることやら・・・。

稼働時間を正確に把握できるシステムを 構築できます！

困り果てていた私を救ってくれたのはデジタル営業員の提案でした。
装置の大幅な変更もなく端末を追加して、表示器が生産開始や段取り換え、アラーム発生などの情報を取得することで
装置1台1台の稼働時間が正確に把握できるし、時間帯、生産数、不良数などの推移も、
一発集計できるようになったので大助かり。
稼働状況が正確に把握できるようになったことで、どこを改善すればいいのかがわかって
タクトタイム短縮に成功しました。
いまでは、他にムダはないかと稼働状況を確認するのが日課となっています。



ご紹介した事例は最新機種でも実現できる！

新しい標準、新たな価値、はじまる。

The New Pro-face Standard

プログラマブル表示器

GP4000 SERIES



本チラシにてご紹介した提案内容は、GP4000シリーズでは構成が異なります。詳しくはお問い合わせください。

株式会社デジタル

www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101
中部支社：052-961-3701
西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・
静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

製品のご用命は